

建築も畑づくりも同じ未来が見えている。

建築がみる夢



2008年6月28日[土]

8月17日[日]

157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2

Tel. 03-3415-6011 (代表)

ハローダイヤル 03-5777-8600

<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>



世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

石山修武と12の物語

開館時間

10:00 am - 6:00 pm (入場は5:30 pmまで)

休館日

毎週月曜日

(ただし7月21日[月・祝]は開館、7月22日[火]は休館)

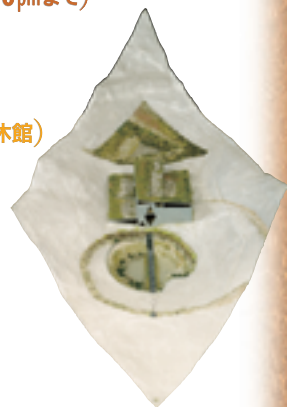
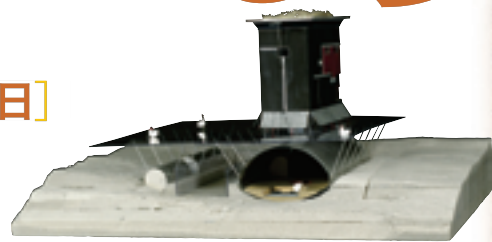
観覧料

一般 ■ 1000 (800) 円

大高生/65歳以上 ■ 800 (640) 円

中小生/障害者[一般] ■ 500 (400) 円

() 内は20名以上の団体料金



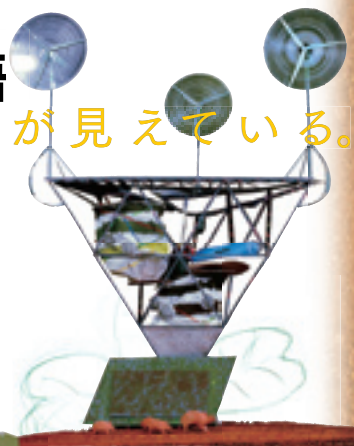
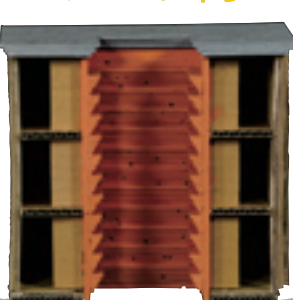
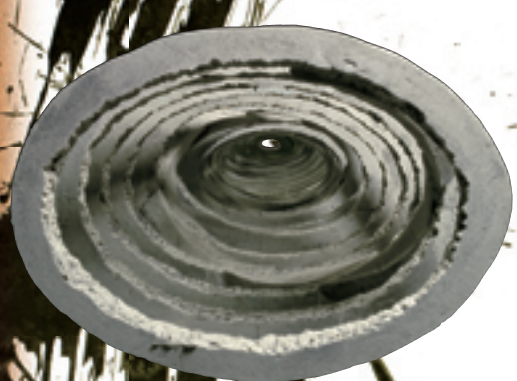
Osamu Ishiyama: 12

Architectural Visions

建築がみる夢

石山修武と12の物語

建築も畑づくりも同じ未来が見えている。



主催
世田谷美術館
特別協賛
早稲田大学
石山修武研究室



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

助成
財団法人地域創造
財団法人一愛し町信託地域文化財財

住んでいる家の上に、新たな自邸《世田谷村》の建設を始め、家族で移り住んだ現在も完成させず、緩やかに作業を続ける。カンボジアの首都プノンペンでは、募金活動で建設資金を集め、少しずつレンガを積むという手法をとり、10年以上の歳月をかけて《ひろしまハウス》を完成させる。

このように、石山修武の建築は、私たちが普段目にする住宅やオフィスビルと同じような考え方では設計されていません。その土地に固有の素材を活用するばかりでなく、通常は建築物に使わない資材を転用し、時には依頼者自身が建設作業を行うといった独自の設計方法は、社会状況との関わりがなかで建築を捉えなおし、その先にある可能性を見据えてきた結果といえます。

本展覧会では、《世田谷村》、《ひろしまハウス》を始め、近年手がけている12のプロジェクトを中心に、石山修武の活動を模型やドローイングなどでご紹介いたします。一つの敷地のなかでエネルギーを自給自足するシステムや、大都市でのメディアセンターの建設構想など、今、石山修武は建築を通じてどのようなメッセージを発信しようとしているのでしょうか。それは現代の生活の常識を揺さぶるものに違いありません。

Osamu Ishiyama:
12 Architectural Visions

建築がみる夢 石山修武と12の物語

建築も畑づくりも同じ未来が見えている。

SETAGAYA ART MUSEUM

2008年6月28日[土] → 8月17日[日]

開館時間

10:00 am → 6:00 pm (入場は5:30 pmまで)

休館日

毎週月曜日 (ただし7月21日[月・祝]は開館、7月22日[火]は休館)

観覧料

一般 ■ 1000 (800) 円 大高生/65歳以上 ■ 800 (640) 円

中小生/障害者[一般] ■ 500 (400) 円

() 内は20名以上の団体料金

世田谷美術館

157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2
Tel. 03-3415-6011 (代表) ハローダイヤル 03-5777-8600
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>



交通案内

東急田園都市線「用賀」駅下車徒歩 17 分
東急田園都市線「用賀」駅から美術館行バス①「美術館」下車徒歩 3 分
小田急線「成城学園前」駅から渋谷駅行バス②「砧町」下車徒歩 10 分
小田急線「千歳船橋」駅から田園調布行バス③「美術館入口」下車徒歩 5 分
東急東横線「田園調布」駅から千歳船橋行バス④「美術館入口」下車徒歩 5 分

来館者専用駐車場 (無料)

東名高速道路高架下、厚木方面側道 400m 先。美術館まで徒歩 5 分

関連企画

ワークショップ

雨にあそぶ——水のかたち水のねいろ

身近な素材を使って、雨を集めて楽しむ道具を作ります。

7月13日[日] 午後1時30分→4時30分

講師：石山修武 + 早稲田大学石山修武研究室

会場：世田谷美術館地下創作室

対象：小学生・中学生

定員：20名 (事前申込・先着順)

材料費：500円

申込方法：住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、往復葉書、または e-mail : info@samuseum.gr.jp で世田谷美術館「雨にあそぶ」まで。

誰もいない美術館で vol.19 「イヤマウンテンオペラ」

展覧会場を舞台に、誰もみないこのないドラマを作ります。

7月20日[日]、21日[月・祝]

講師：柏木陽(演劇家)、寂光根隅的父(じゃこうねずみのぱぼ・演出家)

ワークショップ：各日午後1時→6時

発表会：7月21日[月・祝] 午後7時→8時

定員：10代の方 = 15名 (参加費無料)、

20代以上の方 5名程度 (参加費 2000円)

申込方法：氏名、連絡先を明記のうえ、

e-mail : info@samuseum.gr.jp で世田谷美術館「誰もいない美術館で」まで。

ライブ・パフォーマンス

「サカタ式」坂田明トーク & ライブ

演奏ミニジンの DVD 上映 & 講演会

7月27日[日] 開演：午後7時

出演：坂田明(ミュージシャン)

会場：世田谷美術館展示室

定員：100名 (全席自由)

料金：2,000円 (当日支払、中学生以下は無料)

申込方法：住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、往復葉書、または e-mail : info@samuseum.gr.jp で世田谷美術館「サカタ式」まで。

申込受付期間：7月6日[日] 必着

申込は葉書一枚、e-mail 一件につき2人まで。重複申込はご遠慮ください。応募者多数の場合は抽選します。

展示室トーク

石山修武——自作を語る

8月3日[日] 午後2時→3時

講師：石山修武

会場：世田谷美術館展示室

聴講無料 (事前申込不要。ただし展覧会入場券が必要)

同時開催

「チルドレンズ・ミュージアム 物語が聞こえる——ほくたちのお気に入り」

6月27日[金]—9月7日[日]

「写世術/ photo projects vol. 2 勝又邦彦」

7月21日[月・祝]—7月27日[日]

次回展覧会

「タニ・カラヴァン展」

9月2日[火]—10月21日[火]